8月29日（水） 本年度第8回（通算2647回）12時30分～ 釧路プリンスホテル

『ロータリー財団夢計画』

担当/財団委員会

☆出席報告【会員総数６１名　免除７名　出席計算に用いた会員数６１名】
本日の出席者　　３４名　　出席率　５５．７％

☆ニコニコ献金
- 高橋　貢　君～　新妻委員長本日はよろしくお願いいたします。
- 小林　裕幸君～　同　上
- 新妻　緊市君～　本日の例会よろしくお願いいたします。
- 萩原　昭博君～　同　上
- 中村　祐昭君～　いつもご利用頂きありがとうございます。
- 佐渡　正幸君～　もぐら会１位ありがとうございます。 渡邊さんに負けて悔しいです。

会長挨拶

☆《萩原副会長》☆

皆様こんにちは。本日高橋会長が所要の為欠席しておりますので、私からお話させていただきます。

連日釧路も暑い日が続いております、お盆を過ぎるとだんだん秋に向かって涼しくなるはずですが、そうではないようです。今日は過ごしやすい気温ですが、又明日から暑さが戻ると言うことで、皆様も体調を崩さぬよう健康管理に十分気をつけていただきたいと思います。

先週、クラブ創立記念例会で長内パスト会長に講演を頂き、クラブ54年の歴史を紐解いていただきました。私も15年在籍してる中で北クラブは素晴らしいクラブであります。昨年中嶋地区ライラ委員長を筆頭に、音別で開催された時も一致団結して協力していただきました。６年前には中嶋地区ライラ委員長兼実行委員長のもと、厚岸ネイパルで開催したときは北クラブ単独で行い大成功に終わっております。そのあと坂入君が病にたおれるという悲しいこともありましたが、今は元気に仕事にクラブに積極的に活動しております。やはり北クラブは何かことがあると、それに向かって一致団結して進んで行くと言う強い力を持っていると思います。今年度スタートしたばかりですが、引き続きよろしくご協力のほどお願い致します。

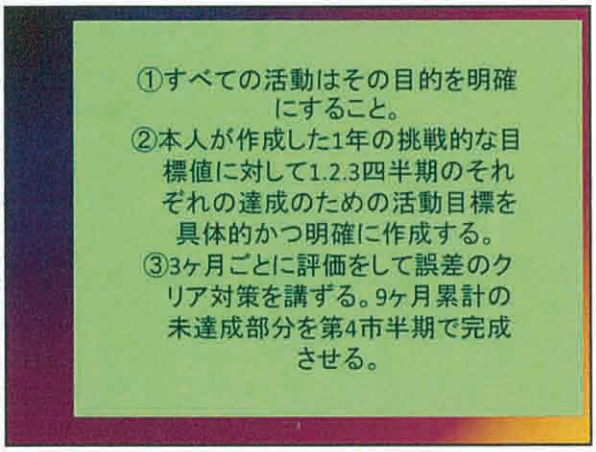
さて、本日はロータリー財団夢計画と言うことですが、先月末旭川で開催されました財団米山セミナーに高橋会長と参加してまいりました。財団に関しましては３時間と言う長い時間でしたが、私も会長も必死になってメモしながら聞いておりましたが、今ひとつ理解しておりません、ただこの夢計画は小野寺年度からスタートするわけですが、今年度はスムーズに移行するための下準備年度だと思います。

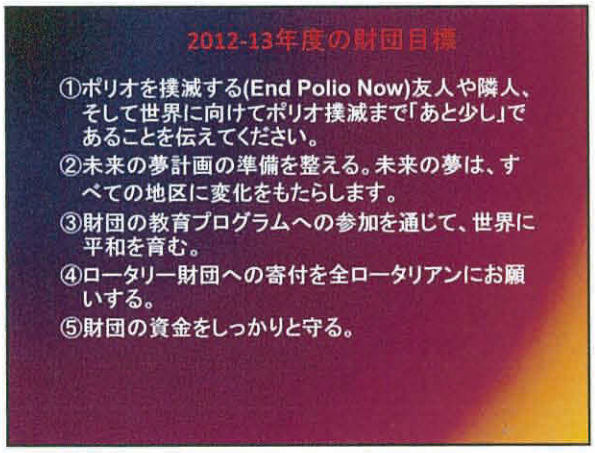
今日は新妻委員長にお願いしておりますので講話の方よろしくお願いいたします。

☆幹事報告☆
《小林幹事》

①釧路北ＲＡＣより７月例会報告と９月例会案内が届いております。
②8月25日の全道中学親善硬式野球大会開会式に会長・幹事で出席してまいりました。
③8月25日の釧路ロータリーカップアイスホッケー大会に会長・幹事で出席しました。
④ロータリーの友９月号を、パーソナルボックスに入れております。

新妻財団委員長よりロータリー財団夢計画について、詳しい説明がなされました。





未来の夢計画

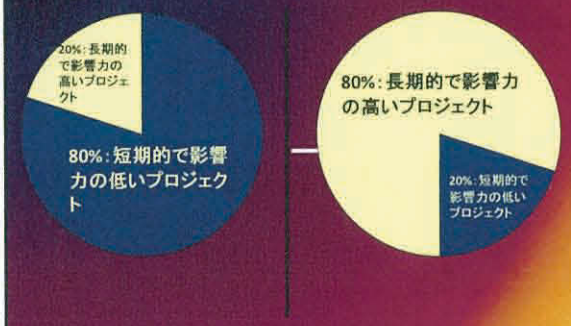
- 2011-12年度より世界74カ国からすべてのロータリーゾーンを代表する100地区が選別（パイロット地区）
- 試験期間：3年
- 財団の新計画を実施、評価、改善、調整を図り2013年7月から世界で実施
- 具体的には、新地区補助金（Rotary Foundation District Grants)とグローバル補助金（Rotary Foundation Global Grants)の2種を利用して新しい考えに基づくプログラムの実施

ROTARY'S PLAN

国際ロータリー戦略計画

ロータリー財団未来の夢計画

80／20コンセプト



複雑な補助金構成

補助金の種類：12

補助金資金モデル数：12

4,000件以上

公式言語の数：9

プロジェクトの実施国・地域：200以上

通貨の種類：26

ボランティアの役職数：30

新しい補助金

補助金構成（試験段階）

- 新地区補助金
- グローバル補助金
  - クラブと地区が立案するグローバル補助金
  - パッケージ・グラント

ロータリー平和センターとポリオ・プラス

補助金構成（2013年7月から）

- 地区補助金
- グローバル補助金
- パッケージグラント

ロータリー平和センターとポリオ・プラス

2012年3月の管理委員会決定

グローバル補助金　持続の可能性

「補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の継続的ニーズを満たすために、プロジェクトがもたらした影響を長期的に持続できること」

重点分野

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

参加資格とMOU（2013年7月から）

- より効率的に
- 対話形式のMOUの手続き（オンライン）
- 入力情報をなくす
  ⇒地区補助金の銀行口座情報を地区補助金申請書で記入
- 再認定の必要なし
- 2012年10月に開始

地区財団委員会（2013年7月から）

- 地区ガバナー
- 地区財団委員長
  - 補助金小委員会
  - 資金推進小委員会
  - ポリオ・プラス小委員会
  - 財団資金管理小委員会 New！
  - その他必要な小委員会

地区財団委員長

- 2013-16年度の地区財団委員長報告の締切日は2012年7月1日
- 2012-15年度地区財団委員長が務めていただくこともできます。
- 2013-14年度の地区財団委員長は2013年国際協議会で行なわれる新補助金制度の研修に参加（アメリカ・サンディエゴ）

新地区補助金

- 財団がこれまで実施してきた地区補助金を土台として柔軟性と革新性をもった未来を念頭に実施
- クラブと地区は国内、国外を問わず一体となって比較的小さな教育的活動、人道的活動を支援する

新地区補助金額

- 地区の3年前の年次プログラム基金寄付、及び恒久基金のシェアー部分からならDDFのみにより支給される
- 地区は毎年、DDFの50%までを申請できる
- 未使用の新地区補助金はTRFに一旦戻され、地区のDDFに返還される
- DDFはこのまま使用されなければ地区DDF残高として翌年へ繰り越される
- 繰り越されたDDF残高は、新地区補助金の額を算定する際加算されない（没収）
- 残高が大きくなるとグローバル補助金ポリオに寄贈される場合がある

1、地区は年に一度DDFの50%までを新地区補助金として申請できる
2、使途は地区の裁量による
3、1年以内の短期の活動資金として使用される事が望ましい。国内、国外、ロータリークラブの有無、パイロット地区、ノンパイロット地区を問わず、教育的人道的プロジェクトを実施可能
4、2年計画の実施が望ましい。即ち、計画申請年度と補助金執行年度（プロジェクト実施年度）の2年の業務サイクルが望ましい
5、既に実施済み又は進行中のプロジェクトには適応されない

6、奉仕プロジェクト：国内、国外のプロジェクト、ボランティア支援のための渡航費、災害救援等に使用可
奨学金：大学のレベル、期間、専攻分野に関する制約はない
国内の大学を対象にしても可。奨学金の授与額は地区の裁量。指定校も無し。奨学生の希望する大学（院）の入学許可書の提示を持って決定可能
カウンセラーは必要なし

職業研修制度（VTT：Vocational Training Team ）
海外で指導したり、研修を受け入れたりする職業チームを派遣
国内における職業研修も可。参加者の資格要件、VTTの構成人数、研修期間、チームリーダーはVTTから選任し、ロータリアンで無くても可
Exchangeでは無いので派遣だけでも。受け入れだけでも可

●2013年度（小野寺年度）からスムーズに財団夢計画に移行し、実施するためには、クラブに於いても今年度から新しい計画を練って、新しい補助金計画の要項に沿ったプロジェクトを策定する準備をしなければなりません。

●また、実施したプロジェクトの報告は従来より大変きびしいものとなり、場合によっては財団の監査が行われます。会計報告、活動報告をしなければRIからクラブの廃止を勧告される場合もあります

●財団の活動に関連したクラブの会計決算は税理士が当たることが妥当と思われます